

早春の候、ご家族の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症対策もすでに1年になります。ご家族の皆様にはご心配やご迷惑をお掛けしていることとお詫び申し上げます。しかし、ご利用者様は元気に過ごされていますので、ご安心ください。

なお、昨年暮れからの生活の様子的一端をご紹介します。



12月の餅つきでは「よいしょ、よいしょ」と掛け声を出し、職員とご利用者が交替で餅をつき、その後でお昼に皆で美味しく牡丹餅を食べました。



クリスマス会では職員がオカリナとハンドベルで「きよしこの夜」を演奏したり、皆で「赤鼻のトナカイ」を歌いました。



ものづくりでそれぞれが団子を付けて飾りつけを行い、談話室等に飾りました。



節分では鬼に扮した職員に向けて「鬼は外」と紙を丸めた豆を投げつけて、邪気を払いました。



食事を待つ間、職員の合図で口腔体操を行っています。大きな口を開けたり、声を出して誤嚥予防に努めています。



今日のお昼の献立は、鶏肉の梅味噌焼き、車麩の卵とじ、ほうれん草の胡麻和えなどです。食事は皆さんの楽しみの一つです。